

平城東公民館だより

令和4年
4月
春号

公益財団法人奈良市生涯学習財団 平城東公民館 〒631-0806 奈良市朱雀6丁目9-1 0742-71-9677 <http://manabunara.jp> 発行 2022年4月1日

ホワイトスペース

館長 いずもり よしたか
泉森 由貴

季節は三寒四温を繰り返して静かに移ろいでいきます。このたよりが皆さんのお手元に届く頃には桜が満開になっているでしょうか。いつもは自活協の「ひびき」で公民館からのお知らせをお届けしていますが、今号は単体の「平城東公民館だより」として発行いたします。

さて、まちを歩いていると色々なサインや看板が目に入ります。無意識に目を向けてしまうそれはどこか魅力的で、心を一瞬で捉えます。逆に雑多で背景に紛れるようなものには少し嫌気がさすところがあります。ふとその違いは何なのか考えてみます。明らかにのは空間の使い方、つまり余白です。面いっばいにロゴや情報を置くのではなく、余白とのバランスがとれているのです。

今、私たちの気持ちのなかに余白や余裕はありますか。消耗品としてマスクを使うようになってからもう2年。いつまでも明けなないコロナ禍に食傷気味な日々です。加えて隣国からは、きな臭いニュースが届いてきます。そんな日常から少しずつギスギスした感情が生まれ、いつの間にか蝕まれているのではないのでしょうか。

「余白」というと、言葉の印象から画面上の余分な空間と想像がちですが、そうではありません。デザインの世界でホワイトスペースと呼ばれるそれはレイアウトする上でとても重要な要素です。積極的に余白をデザインする。忙しい時間や人に辛くあたってしまったとき、あえて余白を意識してみませんか。気持ちのスペースがきつくと優しさを生んでくれるはずですよ。いつもそんな意識で過ごしていきたいと思いますね。

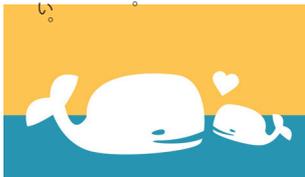
春から始まる講座のお知らせ

- ◇講座の申込方法 (①～③のいずれか)
①ホームページより (“まなぶなら” と検索)
②公民館へ往復はがきを郵送 ③63円のはがきをもって窓口へ

子育てを応援します

すくすく
広場

自由入場の子育てひろばです。
毎回親子講座を行います。
おもちゃで遊んで
地域で仲間をみつけてください。



未就園児と保護者
5月20日～3月17日
(第4水曜日)
14時～15時半
申込不要・自由入場

平城東あそび隊

こどもたちに
自分の好きを
見つけてほしい。
いろんな経験が
つまっています。



平城東校区の小学生 20人
5月7日～12月3日
(第1土曜日)
10時～12時 (時間変更の場合あり)
4月26日 (火)×切

平城相築ニュータウン 50周年



高の原
タウンウォーク

成人 25人
4月28日(木) 朱雀
5月12日(木) 佐保台
5月26日(木) 左京
9時半～12時
4月19日 (火)×切

60歳からの体力づくり



春から始める
シニアストレッチ

60歳以上 25人
4月27日～8月24日
(第4水曜日)
14時～15時半
4月19日 (火)×切

◆地域探訪

〈取材・文 泉森由貴〉

「県内唯一の経済研究所を訪ねて」【後編】

…前号よりつづき

▼情報発信はどつされていますか。○印刷物として機関誌「ナント経済月報」を毎月発行しています。▼これは読ませていただきました。地元の企業や市町村の紹介、地域のトピックスや地方創生・地域活性化に取り組む企業・団体など様々な事柄に焦点をあてた記事が掲載されていますね。読み物として秀逸だと思います。○ありがとうございます。南都銀行の本支店に閲覧用として配布しておりますので、銀行窓口ご利用の際などにご覧ください。▼わかりました。では、これからの展望を教えてください。○引き続き奈良県経済の今を分析し、届けていきたい。そのためにも研究員としてのスキルをより一層高めていくための努力を各自が日々行っています。コロナ禍によって観光産業や繊維産業などを中心に経済は大きな打撃を受けていますが、コロナの影響を調査、分析するとともに、ポストコロナの経済のあり方について提言していきたいと考えます。▼地域との関わりはありますか。○研究パークから平城山駅に通じる道の清掃作業に研究所として参加しています。また、左京地区の夏祭りにも協力させていただいています。▼では、左京・高の原の印象は。○スキリした町並みですね。とても綺麗な印象です。そんな町中に研究施設があるということ、町のブランド価値向上の一役を担っていたいものです。



▼今話題のSDGsのセミナーや研修などの出張講演をされているとのこと、こうやってご縁が繋がったので、また公民館講座にも是非お招きしたいと思います。本日は貴重なお時間をありがとうございました。

こんな講座ありました

「昭和を愉しむレトロ展」

2022年3月10日(木)～13日(日)

昭和時代の思い出を皆で懐かしむ機会として、レトロ展を開催しました。

地域の皆さんから、昭和時代にご家庭で使用されていたものを持ち寄っていただきました。

真空管ラジオや炊飯器、8ミリ映写機などの電化製品、ランドセルやねんねこ、漫画や新聞などの生活用品、万博の思い出グッズや昔のたばこのパッケージなど様々なものが集まりました。今では全く使われていない手回し計算機やオープンリールのテープレコーダーなどの珍しいものもありました。



4日間の展示期間でしたが、150人もの方にご覧いただくことができました。



「蛍を採ってきてきて蚊帳の中に放して遊んだね」「万博には家族や友人など何度も訪れた、いつもいっぱいの人だったな。」など思い出を語り合う姿が印象的でした。開催にあたり、貴重な品を貸してくださった方々に感謝いたしました。ありがとうございました。

「ようこそ数独の沼へ」

2022年1月25日(火)～3月15日(火)

数独は1～9までの数字を重複させずに埋めていくパズルです。やればやるほどはまっていく様子を沼に例えてタイトルにしました。講師は日本数独協会の後藤好文さん。初級から中級まで丁寧にご指導され、6つの解き方のコツをお話しされました。講座にゲスト講師として来られた世界数独チャンピオンの森西さん(奈良市出身)からのメッセージが届きました。

「数独の沼の記事を読んで、実際に数独を解いてみたくなった方もいらっしゃると思いますので、1問作成致しました。良かったら、解いてみてください。」
—森西亭太さんより

数独のルール

あいているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロックのどれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

1	2	5	6	3
		6	7	
3	4	8	5	9
	1			3
9	3		2	6
	2		9	
2	6		4	7
		3		2
4	8		1	3
			3	5